

## 東北復興 PSW にゆうす

今年度から新体制となりましたので、改めて委員を紹介させていただきます。委員会活動は2年間となります。今期は、「発信・検証・発展」をキーワードに据え、より活発な委員会活動をめざしてまいります。

### 復興支援委員会 委員紹介

#### 北村昇二

今回の委員としての参加は、これまでの被災地での精神保健福祉士としての支援の在り方を振り返り、そして言語化して伝える良い機会であると感じております。何を伝えられるか不安はありますが、精一杯、頑張りたいと思います。

#### 小淵恵造

前期より引き続き委員を拝命致しました。時間の経過とともに移り変わっていく課題にどのように「復興支援」に取り組んでいくのか、しっかりと考え、活動していきたいと思っております。

#### 菅野好子

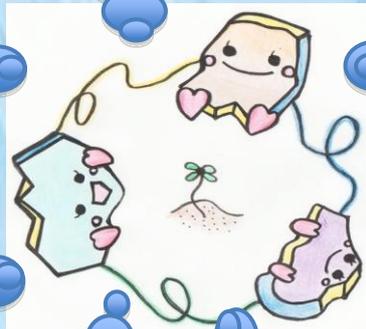
岩手の陸前高田より委員として、今期も参画させていただくこととなりました。「復興」の意味を考えつつ、皆さまからいただいているご支援を委員会活動を通して、少しでもお返しして参ります。

#### 鴻巣泰治

訳あって福島県を後にし、埼玉県内に戻り仕事をしております。以前は福島県内に身を置いて委員会活動をさせていただきましたが、これからは東北から少し離れて様々なことを考えて行きたいと思っております。

#### 伊藤亜希子

東日本大震災から7年が過ぎ、次々におこる災害を見ながら、本委員会としてどのような発信を行っていいのか、皆さまと一緒に考えて行きたいです。今期もどうぞよろしくお願致します。



#### 菅野正彦 (担当理事)

2年ぶりに委員会に参加させていただきます。震災から7年が経った東北での精神保健福祉士の歩みを多くの皆さまにお伝えし、今後何ができるのかを委員の皆さま方と共に考えていければと思います。

#### 伏見香代

震災当時から皆さまには様々な支援をいただき、心から感謝しております。支援を受けるばかりだった私で委員が務まるのだろうか心配ですが、何かお役に立てることがあればとお引き受け致しました。よろしくお願致します。

#### 菅野直樹

今期から委員長を拝命致しました。全く思いがけないことに恐縮しきりですが、これまでの委員会の実績を踏まえつつ、今後の協会活動や事業へ還元することにも意識を向けて参りたいと考えています。全国皆さまからのご指導のほど、何卒よろしくお願致します。

#### 嵐朋子

今年度より委員を拝命致しました。「一人の力は小さくても沢山の力が合わされば大きな力になる」を座右の銘に、微力ではありますが精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願致します。

#### 長谷諭

今期も引き続き委員を拝命致しました。それぞれが思い描く復興への歩みが少しでも進むよう微力ながら尽力させていただきます。ご意見ご要望等があれば遠慮なく声をお聞かせください。

#### 三瓶芙美

委員3期目となりました。東北をより近くに感じるようになりました。いただいたたくさんのご縁と、これからの出逢いを繋ぎ、ふるさとを応援し続けます。

#### 【東日本大震災復興支援委員会】

【担当副会長】 水野 拓二 (静岡県支部)  
【担当理事】 菅野 正彦 (福島県支部)  
【委員長】 菅野 直樹 (福島県支部)  
【助言者】 小関 清之 (山形県支部)  
【助言者】 島津屋賢子 (東京都支部)

#### 【委員】

菅野 好子 (岩手県支部)  
北村 昇二 (岩手県支部)  
長谷 諭 (宮城県支部)  
嵐 朋子 (宮城県支部)  
伊藤亜希子 (福島県支部)  
伏見 香代 (福島県支部)

鴻巣 泰治 (埼玉県支部)  
小淵 恵造 (群馬県支部)  
三瓶 芙美 (神奈川県支部)

#### ★【マスコット「えんが〜る」とは】★

「被災地と全国の仲間と末永い縁(ゆかり)が生まれますように」との願いから岩手在住の構成員の手によって生まれたマスコットです。

## 【今年もやります！】 被災地障害者作業所等製品販売事業@長崎大会

本紙が届く頃には、長崎大会が開幕し、熱い時間を共有している頃でしょうか。

参加される方はぜひお立ち寄りのうえ、製品を手に取りお買い求めください。参加されない方は、参加されている方に是非ご一報ください。

「いつまで続けるの?」「全国各地で災害が起こっているのに、なんで東日本大震災だけ?」などのご意見もあるかも知れません。ご指摘のとおりだと思います。そのため、本委員会では本事業の今後の在り方も検討してまいります。そのような折、2018年7月豪雨では、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。この事業を通して、何か還元できないものかと考え、今年度は出展事業所の皆様のご理解を賜り、売り上げ総額の5%を当協会で実施している「2018年7月豪雨被災地支援に係る募金」へ充てることにしています。皆さまのご厚意が、東日本大震災と2018年7月豪雨災害への支援に、そして、その支援が縁を紡いでいく＝「支縁」となります。全国皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

きてみんなね! ながさき



## 【今年もあります！】 限定Tシャツ

上記物販は2013年石川大会の際に有志活動で実施され、翌年の埼玉大会から当委員会が引き継ぎ実施してきました。このTシャツは、大きな津波被害を受けた女川町の衣料品店（マルサン）に発注してきました。同地に関する支援方法の一つとして、以後、継続してきた経過があります。

今回も物販ブースで左記Tシャツが限定販売されます。今年度は、「Not only for TOHOKU but also for WEST JAPAN in NAGASAKI 2018」のロゴも入っている超レアものです！是非お早めにお買い求めください^^♪

## 【今年度もやります！】 復興支縁ツアー@福島

現地に行かなきゃ分からないことがある。現地に触れることで感じることもある。現地の人と交わることで生まれる何かがある。

被災地を見て欲しいのではありません。そこで生活する人を通して感じて、考えて欲しい…一緒に。ただそれだけの想いです。風化していくことは自然の摂理ですが、風化させないことは、どちらかだけの問題ではありません。

2019年3月に実施予定です。ご案内をお待ちください。

## ★募集★

### - 東日本大震災復興 助成金交付申請 -

本協会では、東日本大震災復興支援事業の一環として都道府県精神保健福祉士協会等による復興支援活動の経費を助成しています。

第15期申請受付期限は、2018年11月30日(金) [当日消印有効]です。

交付申請書に必要事項をご記入のうえ、本協会事務局宛てにご郵送ください。♪

<http://www.japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2018/0829.html>

## 【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりをめざしております。FAXもしくはE-mail: [office@japsw.or.jp](mailto:office@japsw.or.jp) で皆さまのお声をお聞かせください。

★題名に「PSWにゆうすについて」とご記入ください★

第36号 2018年9月15日発行

編集：東日本大震災復興支援委員会

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F

TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL：<http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>